

令和元年度第 1 回埼玉医科大学病院医療安全業務監査委員会議事要旨

1 日 時：令和元年 7 月 17 日（月） 17:00～19:15

2 場 所：本館 12 階カンファレンスルームⅡ

3 出席者：森本義博（委員長） 水谷渉 栗田博 片山茂裕 田中寿

4 議事の要旨

- 1) 医療安全管理部門について
- 2) 医薬品安全管理部門について
- 3) 医療機器安全管理部門について
- 4) 院内感染対策課部門について

5 業務監査シートを用いての報告について

1) 指針、委員会基本事項、基本方針等の報告、説明があった。詳細が必要な部分についてはポケット版医療安全対策マニュアルを用いての説明があった。

職員研修の出席状況の管理に質問があった。⇒ ポイント制での研修参加を管理している。

医療安全カンファレンスについて欠席者が多いと指摘有り。⇒ 開催時間を変え欠席者を減らすよう努力をすると報告有り。

院内巡回のチェックシートで毎回チェックが無い部署に関して再評価していないため今後の検討課題との報告あり。

個人情報管理について事例報告があったが、異常に気づき未然に防いだという事例報告があった。

患者相談等について病院運営会議、診療部長会議、実務者リーダー会議で報告済み。ご意見の投書件数毎月約 80 件位との報告があった。

高難度医療について形成外科と血管外科の手術での事例報告があった。

2) 未承認医薬品の定義、指針や研修、委員会の実施状況等の報告があった。適用外使用認定について IRB 委員会を通して審査をしたほうが良いのではないかと提案があった⇒ 適宜他の委員会の承認を得ている旨の報告があった。

夜間の麻薬の取り扱いについて質問有り⇒ 複数名での対応を実施しているとの回答。

3) 医療機器に関する研修や定期的なメンテナンス、放射線機器の管理や研修、メンテナンス状況等について報告があった。MR 機器の更新によりフロン類の定期点検の実施が追加されるという報告があった。

⇒委員からの指摘事項無し

4) 委員会の基本事項や方針、専従者配置、研修の開催や委員会等の報告があった。週 1 回感染対策メンバーで情報共有をし、感染発生に対して備えている。そのほかにも感染発生状況等も月ごとに提示、ICT 院内感染巡回を 2 週間に 1 度実施しているという報告があった。

⇒委員からの指摘事項無し

6 全体を通しての質疑応答

1) 臓器売買目的の臓器摘出事例等新しい問題にどう対応しているのか。

⇒ 病院として方向性を示したものに従うと回答

2) 隣接都県で起きた透析問題について埼玉医大病院の対応。

⇒ 患者の意思疎通ができない場合は透析を行うというのが通常であると回答。